

目次

1. 中国知財ニュース

- 1) 2016年度データ分析報告
- 2) 中国知財最新ニュース

2. 気になるあの話題



【1】中国知財ニュース

1. 北京知識産権法院2016年度データ分析報告

はじめに

今回ご紹介するのは、中国知産宝司法データ研究センターの主導により制作された、「2016年北京知識産権法院司法保護データ分析報告」の中の一部の統計データです。

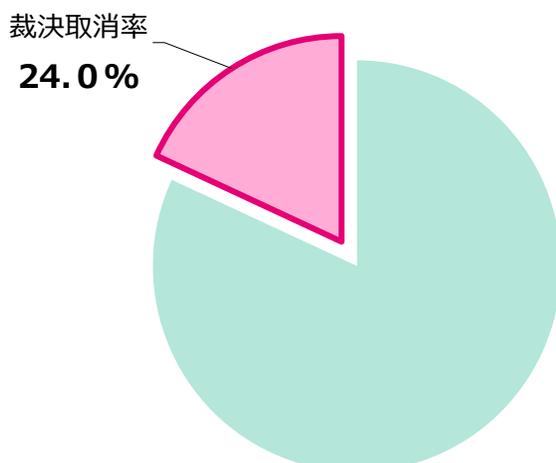
2016年の北京知識産権法院における新受案件は10638件で、結審案件は8111件でした。結審案件件数は、2015年比（5432件）49.3%増となっています。

1. 行政事件

i. 行政事件における裁決取消率

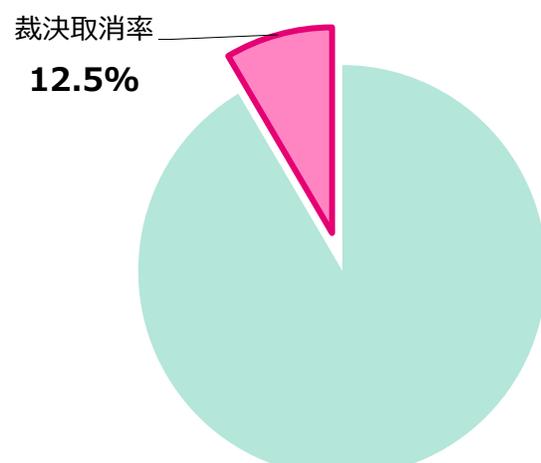
2016年度の商標専利行政一審事件のうち、商標において結審された事件は4356件、うち裁決取消事件は964件、取消率は24.0%、結審された専利事件は592件、裁決取消事件は55件、取消率は12.5%にのぼりました。

商標

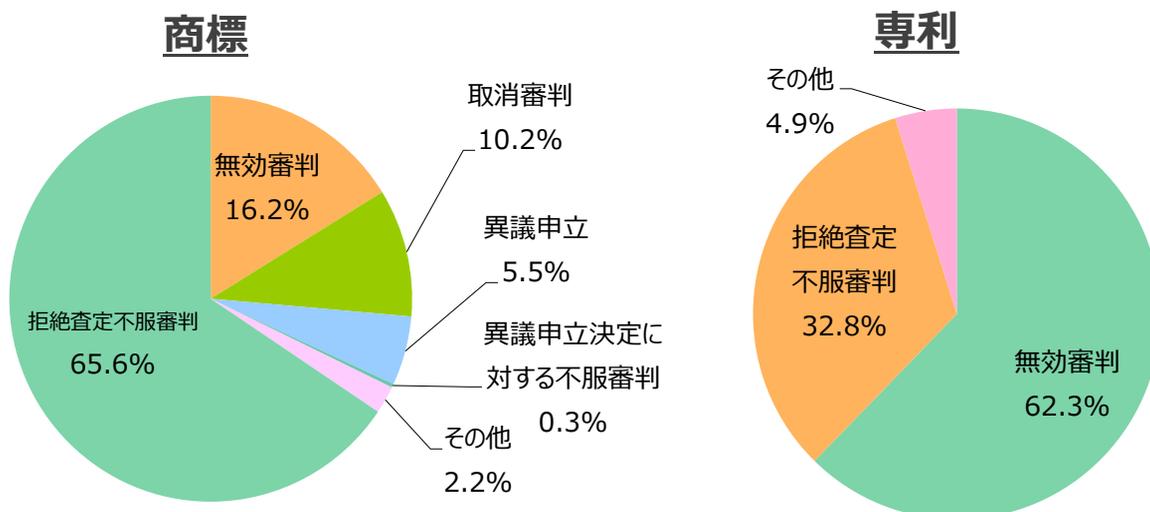


専利

(発明・実用新案・意匠)

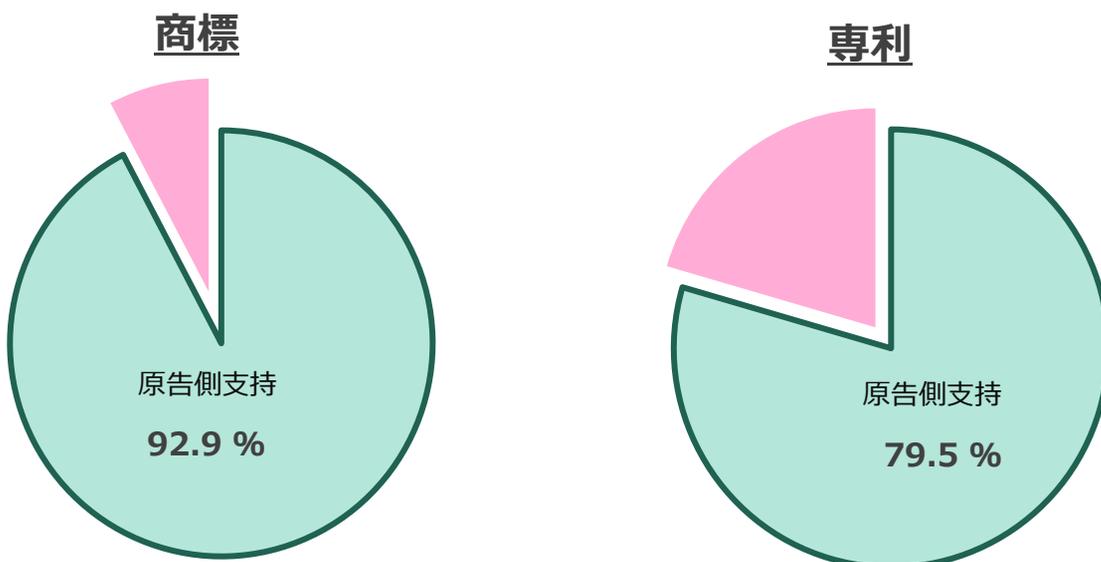


ii. 事件の内訳に見る裁決取消率の状況



2. 民事事件

i. 民事一審事件における原告勝訴率の分析

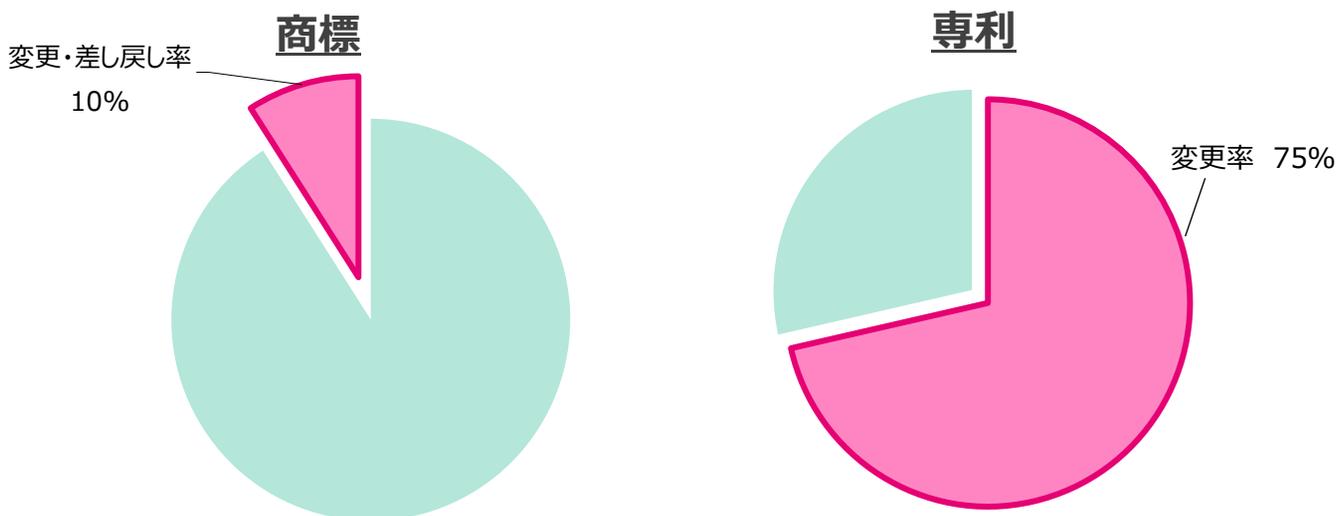


2016年、北京知識産権法院において結審された商標民事事件は108件で、うち一審民事事件は26件、原告の勝訴率は92.9%でした。結審された専利民事事件は452件で、うち一審民事事件は444件で、原告の勝訴率は79.5%でした。

専利の内訳にみる原告勝訴率は、右の表の通りとなっています。

種別	原告勝訴率
特許	70.4%
実用新案	55.6%
意匠	93.2%

ii. 民事二審事件における原判決変更及び差し戻し

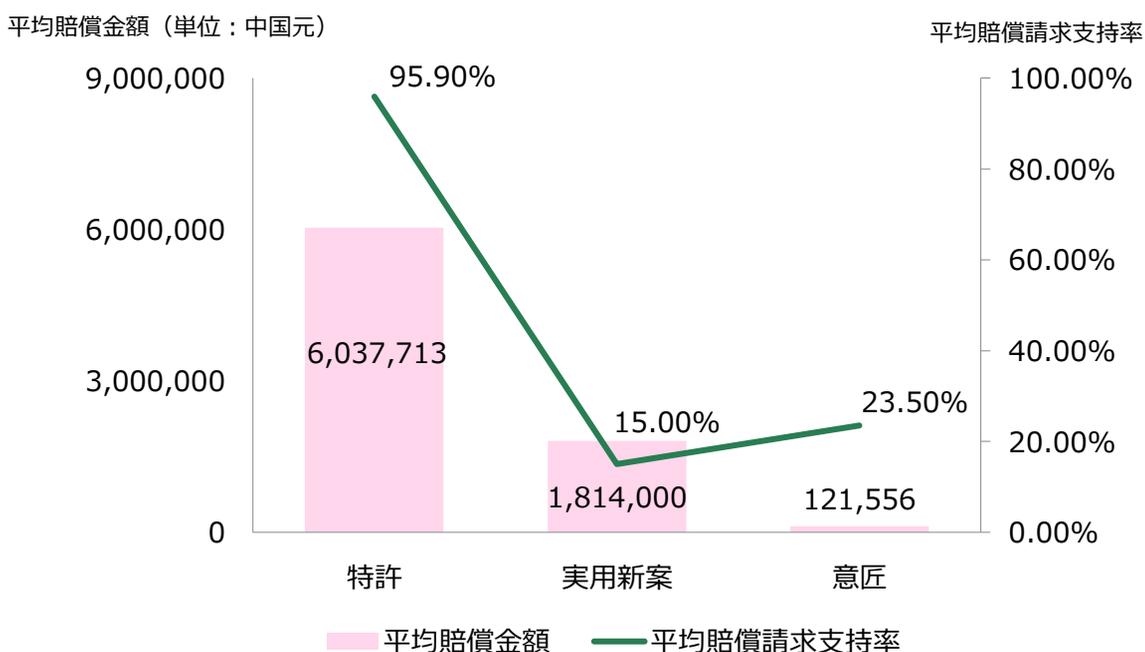


3. 民事一審事件の損害賠償金額

種別	平均賠償額 (元)		賠償支持率	
	2016年	2015年	2016年	2015年
専利	1,324,372	449,916	63.9%	46.6%
著名商標	2,267,686	620,000	63.9%	78.5%

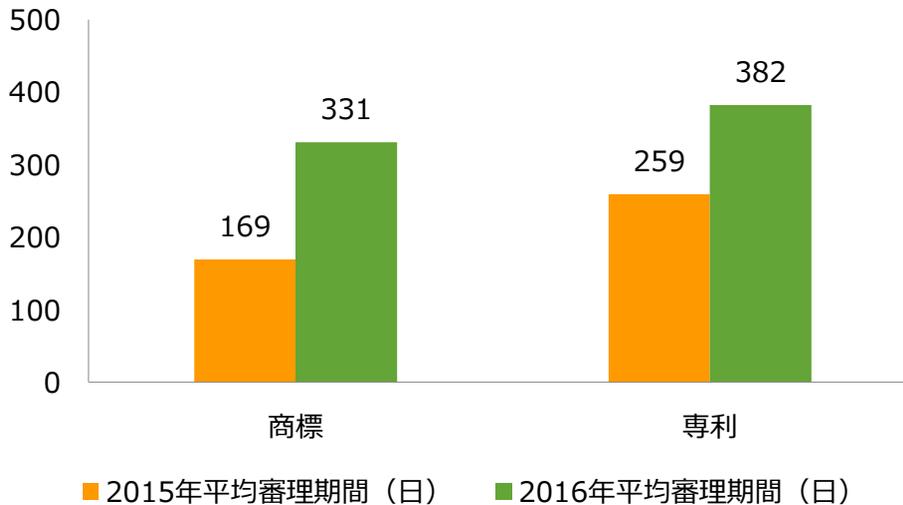
種別	賠償額中間値 (元)		賠償額最高値 (元)	
	2016年	2015年	2016年	2015年
専利	112,500	250,000	50,000,000	3,000,000
著名商標	350,500	135,000	10,000,000	3,000,000

各種専利事件の平均賠償金額及び賠償請求支持率の統計

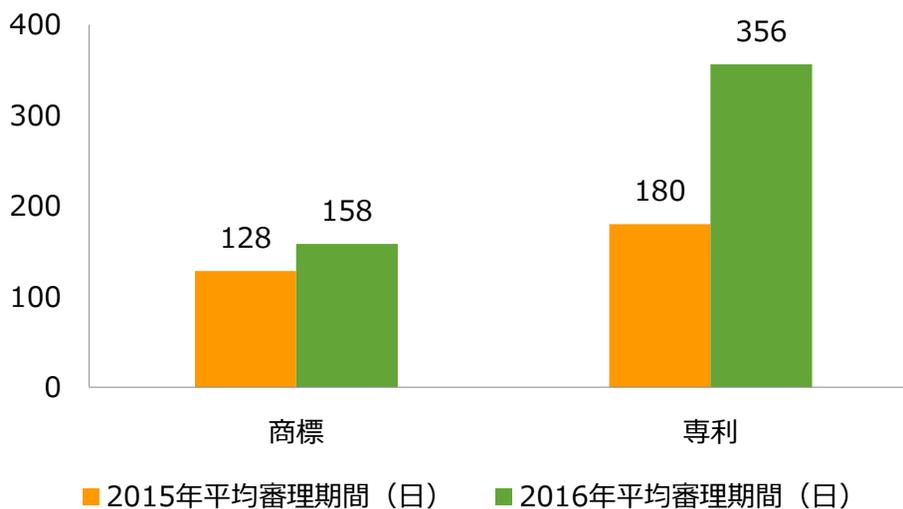


4. 審理期間

i. 民事一審事件における審理期間の分析



i. 行政一審事件における審理期間の分析



(内訳)

商標行政事件	2016年平均審理期間 (日)	2015年平均審理期間 (日)
拒絶査定不服審判	109	104
異議申立	393	179
異議申立決定に対する不服審判	125	-*
無効審判	273	166
取消審判	283	192

*異議申立決定に対する不服審判は、2014年に規定されたものであるため、2015年の結審事件に当該項目は含まれません。

専利行政事件	2016年平均審理期間 (日)	2015年平均審理期間 (日)
拒絶査定不服審判	325	179
無効審判	373	181

2. 中国知財最新ニュース

シャープが中国家電大手“Hisense”を提訴

シャープは、北米での液晶テレビ販売において商標ライセンス契約を結んでいた中国の大手家電メーカー“Hisense”（海信）に対し、品質の低い製品を販売し、シャープの評判を落としたとし、シャープブランドの使用差し止め、及び損害賠償として、一億ドル（日本円約110億円）を請求しました。

シャープ側によると、Hisenseは、シャープとの契約に背き、低品質および低価格の液晶テレビを、シャープブランドとして販売していたということです。

出典：中国知識産権新聞

小中学校での知財教育に向けた講習がスタート

6月5日、国家知識産権局は、中国小中学校における知財教育の講習会を北京で実施し、全国から100名余りの関係責任者、及び教師が参加しました。中国では、2015年より、小中学校における知財教育の導入を試験的に始めており、現在までに、約60校が試験校に認定されています。今回の講習会では、実際に知財授業を導入している試験校の授業視察を行い、美術の授業での商標描写、陶芸の授業での意匠の知識習得勉強、新設された非物質文化遺産課の授業等、知財の新教育についてのあり方を講習会を通して学びました。

出典：中国人民網

中国のEコマース貿易額が世界の4割に

「中国Eコマースレポート（2016）」によると、2016年、中国におけるネットショッピングのユーザー数は、4億6700万人となり、全ネットユーザーの63.8%を占める結果となりました。また、2016年中国におけるEコマースの取引額も、26兆1000億元（日本円約400兆円）と、世界Eコマース小売市場の39.2%を占めたということでした。中国では、モバイル端末によるショッピングが、ネット消費の主流となりつつあり、2016年、モバイル端末でのショッピングはネットショッピング全体の70.7%を占め、昨年同時期を15.3%上回る結果となりました。

出典：CRIONline

中国企業で「山梨桃」を商標登録申請、県は異議申し立ての方針

中国の企業が、2016年11月、食品と広告のカテゴリーにて、商標「山梨桃」を登録するよう中国商標局に申請していたことがわかりました。「山梨桃」の商標登録が認められた場合、今後「山梨桃」の名称が入った商品を、中国で販売することができなくなる可能性があるため、県は、異議申し立てを行う方針であることがわかりました。農林水産省の統計では、山梨県はモモの収穫量が全国1位。現在中国では、桃の輸入が認められていないものの、県は、将来的なことを視野に入れ、販売の妨げになるものは、できるかぎり防いでいくと方針であるとのこと

出典：産経ニュース

【2】気になるあの話題

海外でも勢いのある中国企業・業界とは？

先日WIPOより、2016年のPCT出願状況についての報告が発表されましたが、その中で、中国のPCT出願件数は、前年比44.7%増と大幅に増加しました。出願件数上位10社の中に、中国からは3社が入っており、1位の中興通讯(ZTE)においては、前年比△91.3%も出願件数を伸ばしています。

2016年PCT出願上位10社

順位	企業名	国	2016年のPCT出願件数	前年比
1	中興通讯(ZTE)	中国	4123	△91.3%
2	華為 (Huawei)	中国	3692	▲5.3%
3	クアルコム	米国	2466	△1.0%
4	三菱電機	日本	2053	△28.9%
5	LG電子	韓国	1888	△29.6%
6	ヒューレット・パッカード(HP)	米国	1742	△33.0%
7	インテル	米国	1692	△35.4%
8	京東方 (BOE)	中国	1673	△36.3%
9	サムソン電子	韓国	1672	▲0.7%
10	ソニー	日本	1665	△20.6%

出典：WIPO

続いて、欧州及び米国において、出願の多い中国企業をご紹介します。

2016年EPO中国企業ランキング(出願)

順位	企業名	件数
1	華為 (Huawei)	2390
2	中興通讯(ZTE)	680
3	小米(Xiaomi)	514
4	京東方 (BOE)	148
5	比亞迪(BYD)	67

出典：EPO

2016年USPTO中国企業ランキング(登録)

※ USPTO登録ランキングTOP50に入った中国企業4社(台湾含む)

順位	企業名	件数
1	台積電 (TSMC)	2390
2	華為 (Huawei)	1202
3	京東方 (BOE)	870
4	鴻海精密(Hon Hai)	803

出典：IFI Claims

EPOにおける中国企業の出願技術分野ランキング(2016)

順位	技術分野	件数	前年比
1	数字通信	2203	△9.2%
2	コンピューター技術	892	△24.1%
3	電信	555	△6.3%
4	電気機械、設備、エネルギー	410	△49.6%
5	視聴技術	343	△45.3%
6	輸送	188	△79.0%
7	その他消費品	179	△64.2%
8	有機精密化学	176	△43.1%
9	半導体	173	△147.1%
10	光学	162	△21.7%

出典：EPO

半導体分野は、前年比147%増と大幅増、輸送分野においても79%増という結果が出ています。これらの分野は、中国が国として注力している技術分野です。今後は、半導体、インテリジェンスカー(自動運転)、生物医薬等、技術分野への注目も欠かせません。